

水の町屋：  
400年の歴史をもつ山形五堰 石積水路の歴史を引き継ぐ



撮影：2016年8月（山形県山形市・御殿堰）

◆地域用水機能として

山形五堰はもともと農業用水や生活用水や防火用水、さらには地下水涵養として重要な役割を担ってきましたが、近年身近な水とふれあい、地域らしい景観を保全する機能としても重視され、これを総称して“地域用水機能”と呼んでいます。

◆民間が仕掛けて公共空間整備

七日町御殿堰が生まれて6年がたち、当時植栽したヤナギは大きく成長しました。この場所は「水の町屋」と呼ばれる観光スポットになっています。現在、この先の水路再生工事も進んでいます。

岡村幸二（JRRN会員）